

2023 年度 10 月期 トUNK・アブドゥル・ラーマン大学(マレーシア) 交換留学生募集要項

- 新型コロナウイルス感染症の拡大状況によっては、派遣できない場合があります。
- 本学学生の海外留学に関する方針をホームページに掲載しています。必ず確認してください。URL: <https://cip.agu.ac.jp/news/11042-63388-45729/index.html>

<大学概要>

名称	トUNK・アブドゥル・ラーマン大学 / Universiti Tunku Abdul Rahman (UTAR)
所在地	マレーシア
大学紹介	2002 年に設立された私立大学で、大学の名称はマレーシアのラーマン初代首相の名前からとられています。学生数は約2万人で、カンパーキャンパスとスンガイロンキャンパスの2つのキャンパスに、理学部、文学・社会学部、医学・健康科学部、商学部、経営学部、情報通信技術学部、創造産業学部、基礎工学部、環境保全技術工学部などを擁する総合大学です。UTAR では、充実したプログラムの授業が公用語である英語で開講されており、実践的な英語を身につけることが期待できます。
Website	https://utar.edu.my/home.php

<留学概要>

コース	学部プログラム ※UTAR から許可された場合、基礎プログラムの科目を併行して履修することも可能です。
10 月学期	2023 年 10 月 30 日(月)~2024 年 1 月 7 日(日) ※基礎プログラム: 2023 年 10 月 16 日(月)~2024 年 1 月 14 日(日) (1 年間の留学を希望する学生は相談して下さい。)
コース内容	交換留学生は、大学学部所属し、トUNK・アブドゥル・ラーマン大学の学生と共に学びます。講義は公用語である英語で行われます。UTAR から許可された場合、学部の授業と併行して、基礎プログラムの授業を履修することも可能です。基礎プログラムでは、アカデミックイングリッシュなどの基礎的な英語科目の他、クリティカルシンキングやコミュニケーションスキルなどの科目も学ぶことが出来ます。
入学条件	IELTS 5.0, TOEFL iBT42 レベル相当以上の英語力があることが望ましい。※選択学部によってはさらに高い英語力が求められる場合があります。 (参考) UTAR 募集要項: https://admission.utar.edu.my/Entry-Qualifications-and-English-Language-Requirements.php 抜粋...There is no language requirement for exchange students, but it would be better if students have English proficiency equivalent to IELTS 5.0 or above, especially for English-taught courses. If students plan to take courses in English Language and English Education programmes, the English requirement is IELTS 6.0 or above.
授業料	交換留学協定により免除
滞在	UTAR が紹介する Student Hostel/Apartment に滞在
その他費用	食費、生活費の他、往復旅費、交通費、ビザ申請関連費用、健康保険、健康診断費などがかかります

※上記日程は予定です。事前の予告なく変更される場合があります。

<応募概要>

募集定員	若干名
応募資格	次の両項目の条件を満たす学生 ① 留学開始までに本学に 1 年以上在学し、留学する前年度までに 30 単位以上修得していること。 ② 英語で行われる講義を受講できること(IELTS5.0, TOEFL iBT42 レベル相当以上)
応募締切	2023 年 5 月 17 日(水)
申込窓口	日進キャンパス: 国際交流センター、名城公園キャンパス: 事務室(Hub キューブ 2 階)
申込書類	①交換留学願書 ②大学成績表コピー ③英語試験の成績表コピー(※資格を持っている場合)
学納金負担	本学に学納金を全額納付すること ※留学期間中も本学に在学扱いとなる
奨学金	交換留学生奨学金を給付(愛知学院大学への学納金納付時に、既定の奨学金を差し引いて学納金を徴収することにより給付) ※ 各種制度により、本学の授業料が免除となった場合は、奨学金の対象となりません。
海外保険等	本学指定の保険プラン(基本プラン選択の場合は保険料を本学が負担)、及び海外危機管理サービス(OSSMA, 有料)に加入必須
選考方法	書類審査及び面接にて選考。日程は後日連絡します。
結果発表	選考後、連絡します。

<注意事項>

- 留学ビザが発給されない場合、交換留学に行くことはできません。
- PCR 検査証明書、ワクチン接種証明書等の提出、入国後の自己隔離等が求められることがあります。
- 新型コロナウイルス感染症の感染拡大状況次第では、授業がオンラインで行われたり、交換留学が中止となる場合があります。
- UTAR への交換留学の詳細については、" [Student Exchange Programme \(SEP\) Information Sheet](#) "の内容を必ず確認してください。

トungk・アブドゥル・ラーマン大学への出願書類等

(参考。詳細は、面接合格後お知らせします。)

交換留学申請書類

1. 交換留学申請フォーム [Student Exchange Programme Application Form](#)
2. 推薦状(国際交流センターが用意します)
3. 大学成績表(英語版)
4. パスポート ID ページのコピー

VISA 申請用書類

5. パスポート用証明写真サイズ(4.5 cm x 3.5 cm)の証明写真データ(JPEG フォーマット)。次のリンクから必ず証明写真を撮影する際の注意点を確認して下さい。[マレーシア証明写真のガイドライン](#)
6. A letter of confirmation(国際交流センターが用意します)
7. パスポートの空白ページも含む全てのページの PDF データ。マレーシア入国予定日から少なくとも 18 か月以上の有効期限があること。
8. 健康申告書 [Health Declaration Form](#)

※ 交換留学生は、VISA 取得審査の一環としてマレーシアに入国後に健康診断を受けます。マレーシア入国前からこの健康診断が終了するまで少なくとも約1週間、薬の服用が禁じられています。

- ✓ Student must not consume any medication at least one week before arriving in Malaysia. Should there be real medical needs, please consult with your doctor.
- ✓ Drugs are illegal possession and consumption of drugs are prohibited.
- ✓ For appeal cases, the fees will be borne by the students. Students who fail the post medical screening will be deported back to their home country.

(“[Student Exchange Programme \(SEP\) Information Sheet](#)”より抜粋)

※ トungk・アブドゥル・ラーマン大学(UTAR)では、マレーシア入国前に、新型コロナワクチンを2回以上接種しておくことを推奨しています。接種回数が2回未満の学生は、大学構内に入る際に PCR 検査等を求められる場合があります。